

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	さいたまIT・WEB専門学校
設置者名	学校法人 東京滋慶学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	高度専門士情報技術科	夜・通信	330 時間	320 時間	
	情報技術科	夜・通信	180 時間	160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考) 高度専門士情報技術科（4年制）は設置2年目。（完成年度は2026年度） 情報技術科（2年制）は設置2年目。（完成年度は2024年度）					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.siw.ac.jp/information>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	さいたまIT・WEB専門学校
設置者名	学校法人 東京滋慶学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.tokyo-jikei.ac.jp/information>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務 内容 や期待する役 割
非常勤	株式会社役員	令和4年3月31日～ 令和8年3月30日	適切な情報収集
非常勤	株式会社役員	令和4年3月31日～ 令和8年3月30日	財務体制の強化
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	さいたまIT・WEB専門学校
設置者名	学校法人 東京滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ●授業計画(シラバス)の作成過程 教務部長が各学科長と連携を図り、それぞれの学科の養成目的と到達目標を毎年見直す。見直しにあたっては、社会のニーズの変化や年2回開催される教育課程編成委員会の意見などを参考にしている。 この養成目的、教育目標の達成のための授業計画案を授業担当講師が作成する。各年度の授業オリエンテーションの前までに、その授業計画案に基づき、教務部長、学科長、授業担当講師が協議し授業計画を決定する。 ●授業計画の作成・公表時期 各科目シラバスは2月下旬に作成する。教員間では3月の講師会議・科目連絡会で共有し、4月にホームページにて公表する。	
授業計画書の公表方法	https://www.siw.ac.jp/information
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

- ・学習の評価については、学則及び学則施行細則にあらかじめ定められた下記評価基準、評価方法に従い厳格且つ適正に履修認定を行う。
- ・評価は、定期試験の得点によって「A～F」6段階で評価を行ない、D以上を合格とする。
- ・学則、学則施行細則、シラバス等を毎年度当初に学生に提示し、あらかじめ設定された成績評価の方法・基準について説明する。

点数 100～90 点＝A評価

点数 89～80 点＝B評価

点数 79～70 点＝C評価

点数 69～60 点＝D評価

点数 59 点以下＝F評価

※出席が 70%に満たない場合はE評価（特別補講を実施する場合がある）

- ・定期試験は筆記試験、実技試験、レポートのいずれかで行う。
- ・欠席扱いを免除した試験の欠席者には追試験を実施する。
- ・私的事由による欠席者及び定期試験不合格者には再試験を実施する。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

定期試験で100点満点のうち60点以上を合格点とし、評価は下記の通りとしている。

GPAの算出方法

GPAを算出する計算式は以下のとおり。(GPAの算出は、小数点以下第3位以下を四捨五入するものとする。)

【GPAを算出する計算式】

(該当授業科目の単位数×各授業科目で得たGP)の合計……①

GPA =
$$\frac{\text{当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計} \cdots \cdots \textcircled{2}}{\text{当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計} \cdots \cdots \textcircled{2}}$$

実点数 範囲	100点～90 点	89点～80 点	79点～70 点	69点～60 点	59点以下 または不合格
成績評価	A	B	C	D	E又はF
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://www.siw.ac.jp/information>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

下記のディプロマポリシーに記載されている能力・資質を身に付け、学年毎に修了すべき教科科目の授業に 70%以上出席しており、試験に合格している者は科目修了とし、下記ディプロマポリシーの修得を卒業進級判定会議にて審査の結果、修了と認定すべき者と認められた者を卒業認定する。

【ディプロマポリシー(卒業認定の方針)】

さいたま IT・WEB 専門学校は、「建学の理念」と「4つの信頼」に基づいて、「即戦力となる学生を育成し、社会に貢献することを最終目標」とし、情報技術 (IT) の職業に従事するために必要な技術・知識、態度、考え方をもった学生を社会・業界に送り出すこととしています。

卒業までに身につけるべき資質を以下に示します。

- (1) 学内における様々な教育プログラムを通じて社会人基礎力が培われている。
- (2) IT 業界との連携により職業人・業界人としての人間力を、また社会人としての身構え、気構え、心構えを身につけている。
- (3) IT 関連職種に応じ必要とされる知識・技術、国家資格等を取得することで身につけている。
- (4) 他者や異文化に対する理解を深め、自らの見解と高い視野を備えた国際感覚を身につけている。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.siw.ac.jp/information>

様式第2号の4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4－①を用いること。

学校名	さいたまIT・WEB専門学校
設置者名	学校法人 東京滋慶学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.tokyo-jikei.ac.jp/information 「財務諸表」内にて公表
収支計算書又は損益計算書	https://www.tokyo-jikei.ac.jp/information 「財務諸表」内にて公表
財産目録	https://www.tokyo-jikei.ac.jp/information 「財務諸表」内にて公表
事業報告書	https://www.tokyo-jikei.ac.jp/information
監事による監査報告（書）	https://www.tokyo-jikei.ac.jp/information

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程	高度専門士情報技術科			○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	3 4 0 0 単位時間	1 5 6 0 単位時間	1 6 5 0 単位時間	2 9 1 0 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			6 1 2 0 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
8 0 人		7 8 人	0 人	5 人	1 1 人	1 6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画は、教務部長が各学科長と連携を図り、それぞれの学科の養成目的と到達目標を毎年見直す。見直しにあたっては、社会のニーズの変化や年2回開催される教育課程編成委員会の意見などを参考にしている。各科目シラバスは2月下旬に作成する。教員間では3月の講師会議・科目連絡会で共有し、4月にホームページにて公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） ・定期試験の得点により「A～F」6段階で評価を行ない、D以上を合格とする。 ・定期試験は筆記試験、実技試験、レポートのいずれかで行う。 ・学則施行細則に定めにより、欠席扱いを免除した試験の欠席者には追試験を実施する。 ・私的事由による欠席者及び定期試験不合格者には再試験を実施する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年毎に修了すべき教科科目の授業に70%以上出席しており、試験に合格している者は科目修了とし、卒業進級判定会議にて審査の結果、修了と認定すべき者と認められた者を卒業認定する。
学修支援等
（概要） 担任などの教職員が教育・就職・学費・学校生活のあらゆる面において支援を実施する。また、担任が学生との定期的に個別面談を実施し、学修状況や要支援事項の確認を行ない、必要に応じて保護者とも連携している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)

(主な就職、業界等) インターネット/Web 業界・通信業界・ソフトウェア業界・ハードウェア業界・情報処理サービス業界
(就職指導内容) 就職活動用スーツ講座・模擬面接会・合同企業説明会の開催。個別での面接指導、履歴書添削等を実施。
(主な学修成果(資格・検定等)) IT パスポート試験 3 名、基本情報技術者試験 3 名、情報セキュリティマネジメント試験 1 名合格。
(備考) (任意記載事項) 学科設置 2 年目。完成年度は 2026 (令和 8) 年度

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40 人	2 人	5.0%
(中途退学の主な理由) 他分野への進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学時・進級時のキャリアサポートアンケートを活用した担任・スクールカウンセラーによる中退防止支援、進路変更アドバイザーによる転校・転科支援など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報技術科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間	720 単位時間	960 単位時間	1230 単位時間	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2910 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		67人	0人	5人	11人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 授業計画は、教務部長が各学科長と連携を図り、それぞれの学科の養成目的と到達目標を毎年見直す。見直しにあたっては、社会のニーズの変化や年2回開催される教育課程編成委員会の意見などを参考にしている。各科目シラバスは2月下旬に作成する。教員間では3月の講師会議・科目連絡会で共有し、4月にホームページにて公表する。	
成績評価の基準・方法	
（概要） ・定期試験の得点により「A～F」6段階で評価を行ない、D以上を合格とする。 ・定期試験は筆記試験、実技試験、レポートのいずれかで行う。 ・学則施行細則に定めにより、欠席扱いを免除した試験の欠席者には追試験を実施する。 ・私的事由による欠席者及び定期試験不合格者には再試験を実施する。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 学年毎に修了すべき教科科目の授業に70%以上出席しており、試験に合格している者は科目修了とし、卒業進級判定会議にて審査の結果、修了と認定すべき者と認められた者を卒業認定する。	
学修支援等	
（概要） 担任などの教職員が教育・就職・学費・学校生活のあらゆる面において支援を実施する。また、担任が学生との定期的に個別面談を実施し、学修状況や要支援事項の確認を行ない、必要に応じて保護者とも連携している。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） インターネット/Web 業界・通信業界・ソフトウェア業界・ハードウェア業界・情報処理サービス業界			
（就職指導内容） 就職活動用スーツ講座・模擬面接会・合同企業説明会の開催。個別での面接指導、履歴書添削等を実施。			

(主な学修成果(資格・検定等)) IT パスポート試験 2 名、Web デザイン技能士 6 名合格。
(備考) (任意記載事項) 学科設置 2 年目。完成年度は 2024 (令和 6) 年度

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3 0 人	2 人	6 . 7 %
(中途退学の主な理由) 他分野への進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学時・進級時のキャリアサポートアンケートを活用した担任・スクールカウンセラーによる中退防止支援、進路変更アドバイザーによる転校・転科支援など		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
高度専門 士情報技 術科	100,000 円	950,000 円	300,000 円	
情報技術 科	100,000 円	950,000 円	300,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.siw.ac.jp/information		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
①自己評価結果の客観性・透明性を高める。 ②専修学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図る。 【主な評価項目】 1 教育理念 2 学校運営 3 教育活動 4 学修成果 5 学生支援 6 教育環境 7 学生の募集と受入れ 8 財務 9 法令等の遵守 10 社会貢献・地域貢献 【評価のポイント】 ・自己評価結果の内容が適切か ・自己評価結果を踏まえた今後の改善方策が適切か ・学校の重点目標や評価項目等が適切か ・学校運営の改善に向けた実際の取組が適切か 【評価結果の公表・活用】 ・学校関係者評価委員会等はその評価結果や今後の改善策等についてとりまとめ、広く公表する。学校は評価結果を改善方策の検討において活用し、次年度の重点目標の設定や学校運営や教育活動などについて具体的に改善を図る。 【実施体制】 学校と直接関係のある学校外の者を評価者とする学校関係者評価委員会は、次のような「学校関係者」を選任する。 ・学校の専門分野における業界関係者 ・卒業生 ・保護者 ・地域関係者 ・高等学校の校長 （各区分1名以上の選出） ※2024年度は卒業生代表者はなし（2023年4月に分野の廃止・追加により新学科の卒業生がいないため）		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別

高度専門士情報技術科1年生保護者	2024年4月～2026年3月	保護者代表
東京理科大学 特任教授 元高等学校 校長	2024年4月～2026年3月	高等学校関係者
さいたま市大宮区役所 区民生活部 部長	2024年4月～2026年3月	地域関係者
paiza 株式会社 代表取締役社長	2024年4月～2026年3月	業界関係者
コムウェア株式会社 代表取締役社長	2024年4月～2026年3月	業界関係者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.siw.ac.jp/information		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.siw.ac.jp/information
--